

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	5102	(H.25)No.	5102
-----------	------	-----------	------

事務事業名	文化財保護費		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	文化生涯学習室	吉岡 昌行	

会計区分	事業コード	503501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	教育費	文化財保護費
項	社会教育費	(小事業名)
目	文化振興費	文化財保護費

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施策	2	文化資源
	小施策	1	文化財の保護・調査研究
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
新たな文化財指定や、指定文化財の維持管理を行っています。指定文化財を良好な形で後世に伝えるとともに、地域のシンボルとして活用を図ります。
事業内容
市域に存在し、地域を理解するうえで特に重要な文化財の保護業務で、文化財調査会の開催、市指定文化財の修復補助、文化財指定看板の設置、史跡の草刈り等を行っています。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.25年度(事業量・取組実績)	H.26年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	指定文化財の保護、ならびに維持管理にかかる経費	指定文化財の保護、ならびに維持管理にかかる経費
	報酬 56千円 旅費 41千円 需用費 129千円 委託料 948千円 使用料 734千円 報償費 30千円 負担金 50千円	報酬 154千円 旅費 27千円 需用費 140千円 委託料 1,188千円 使用料 532千円 報償費 30千円 負担金 50千円

H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)
指定文化財の保護、ならびに維持管理にかかる経費	指定文化財の保護、ならびに維持管理にかかる経費	指定文化財の保護、ならびに維持管理にかかる経費

	H.25年度(決算見込)	H.26年度(作成時予算額)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	1,986千円	2,121千円	2,120千円	2,120千円	2,120千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 1,986	2,121	2,120	2,120	2,120
人工数					
職員	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 1,520千円	1,520千円	1,520千円	1,520千円	1,520千円
①+②総事業費	(0千円) 3,506千円	3,641千円	3,640千円	3,640千円	3,640千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
文化財の保護や史跡の景観保全の適切な管理に努めました。限られた予算の中で、管理保全にかかる経費の確保について検討が必要となっています。	文化財の保護とその活用について、地域づくり組織と連携を図りながら推進する必要があります。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	登録文化財の指定に努めるとともに、自然環境の保全など、貴重な歴史、文化資源を後世に継承するための取組を進めました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	身近な史跡、文化財を地域資源として活用を図るためマップの作成やウォーキングコースの開発など地域づくり組織と協働して進めます。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	引き続き、地域と連携して事業を推進します。

6. 事務事業の取組に関する主な市の計画

--